別紙２

予　算　要　求　資　料

令和７年度３月補正予算　　　支出科目　款：労働費　項：労政費　目：雇用促進費

事 業 名 プロフェッショナル人材センター運営事業費（R8分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）
商工労働部　産業人材課　人材確保係　電話番号：058-272-1111(内3682)
E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

１ 事 業 費　補正要求額　　　45,319 千円　（現計予算額：　　　0 千円）

＜財源内訳＞

区　分	事業費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財　産 収　入	寄附金	その他	県　債	一　般 財　源
現　計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補　正 要求額	45,319	22,197	0	0	0	0	0	0	23,122
決定額	45,319	22,197	0	0	0	0	0	0	23,122

２ 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

県内に新たに安定した質の高い雇用を生み出すためには、地域を支える企業が新たな事業課題に取り組み、新たな取引先や市場開拓を積極的に実施する必要がある。そのため、企業に眠る未活用の技術やノウハウ等、様々な潜在的可能性のある資源を積極的に掘り起し、経営体質の強化を含め、新たな取り組みに積極的にチャレンジする「攻めの経営」への転換を促進しなければならない。

（２）事業内容

企業に対して、経営改善への意欲の喚起、経営改善を担うプロフェッショナル人材及び副業・兼業人材の確保を通じて、経営課題の解決を支援する「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、企業を訪問して支援を行う「プロフェッショナル人材戦略マネージャー」等を配置する。

人材ニーズを丁寧に掘り起こし、相談案件へのよりきめ細やかなフォローアップを実施するため、プロフェッショナル人材戦略地域サブマネージャーを配置する。

【拠点の概要】
・開設：平成２７年１２月
・人員：6名　マネージャー１名（兼務）、統括サブマネージャー１名、
　　　　サブマネージャー２名
　　　　アシスタント１名、雇員１名
・営業：月曜～金曜（９：００～１７：００）　※ 祝日・年末年始除く

（３）県負担・補助率の考え方
国庫負担　１／２以内［地域未来交付金］

（４）類似事業の有無
無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	324	業務旅費
需用費	106	消耗品費
役務費	72	通信料
委託料	44,757	拠点運営費
使用料	60	会議室使用料
合計	45,319	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ
県
・「清流の国ぎふ」創生総合戦略2023
３(2)①産業を支える人材の育成・確保
プロフェッショナル人材受入に関するセミナーや企業訪問等を実施するとともに、受入時の経費を支援し、成長が見込まれる県内企業の経営改善を促進する。
・岐阜県経済・雇用再生戦略2023
３(4)若者のＵターン就職・転職促進
県外からのプロフェッショナル人材の受入れ支援
国
・デジタル田園都市国家構想基本方針
地域へのデジタル人材等の還流と地域人材市場の育成、マッチングビジネスの早期市場化・自立化を図ることを目的に、『デジタル人材地域還流戦略パッケージ』を集中的に実施。

（２）国・他県の状況
・国が設置するプロフェッショナル人材戦略全国事務局と連携して実施
・東京都を除く４６道府県に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置済み

事　業　評　価　調　書（県単独補助金除く）

□	新 規 要 求 事 業
■	継 続 要 求 事 業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
　県内企業を訪問し、「攻めの経営」への転換意欲を高め、経営改善を担う「プロフェッショナル人材」の活用を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前（R ）	R6年度実績	R7年度目標	R8年度目標	終期目標（R9）	達成率
①プロフェッショナル人材の県内企業への就業件数		340	230	230	1150件 ※R5～R9累計目標	

〇指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	企業を巡回・訪問して経営や人材獲得に関する相談に対応すると共に、企業経営者向けに意識啓発セミナーを実施した。 ・企業訪問件数　2,471件 ・取り繋ぎ件数（企業情報シート提出件数）　323件 ・成約件数　307件 ・セミナー開催件数　11回
令和6年度	企業を巡回・訪問して経営や人材獲得に関する相談に対応すると共に、企業経営者向けに意識啓発セミナーを実施した。 ・企業訪問件数　2,216件 ・取り繋ぎ件数（企業情報シート提出件数）　269件 ・成約件数　340件 ・セミナー開催件数　4回
	指標①　目標：____　実績：　____　達成率：　____　%
令和7年度	令和９年度当初予算にて追加
	指標①　目標：____　実績：　____　達成率：　____　%

２ 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） ３：増加している ２：横ばい １：減少している ０：ほとんどない	
（評価） ３	県経済の活性化を図るためには、プロフェッショナル人材の活用による県内企業の経営改善を図る必要があり、事業の必要性は高い。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ３：期待以上の成果あり ２：期待どおりの成果あり １：期待どおりの成果が得られていない ０：ほとんど成果が得られていない	
（評価） ３	企業相談数は目標を上回っており、企業からの相談に対するニーズは高い。成約件数も着実に件数を積み重ねており、企業の高度人材の確保に有効な事業だと考えられる。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ２：上がっている １：横ばい ０：下がっている	
（評価） ２	企業訪問時には、特定地域の企業をまとめて訪問する等、効率的な事業執行に努めている。

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 本事業を進めていくうえでは、企業と繋がりのある県内金融機関や、プロフェッショナル人材の人材情報を有する民間人材紹介事業者との連携が不可欠となる。

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県では令和5年から7年の３年間で690件という新たな目標を立てており、引き続き、拠点機能を拡充して、プロフェッショナル人材の獲得に取り組んでいく。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	